

2 スマートデバイスによる遠隔診療 ⇒回復期から慢性期の医療分野のスマート化

【概要】

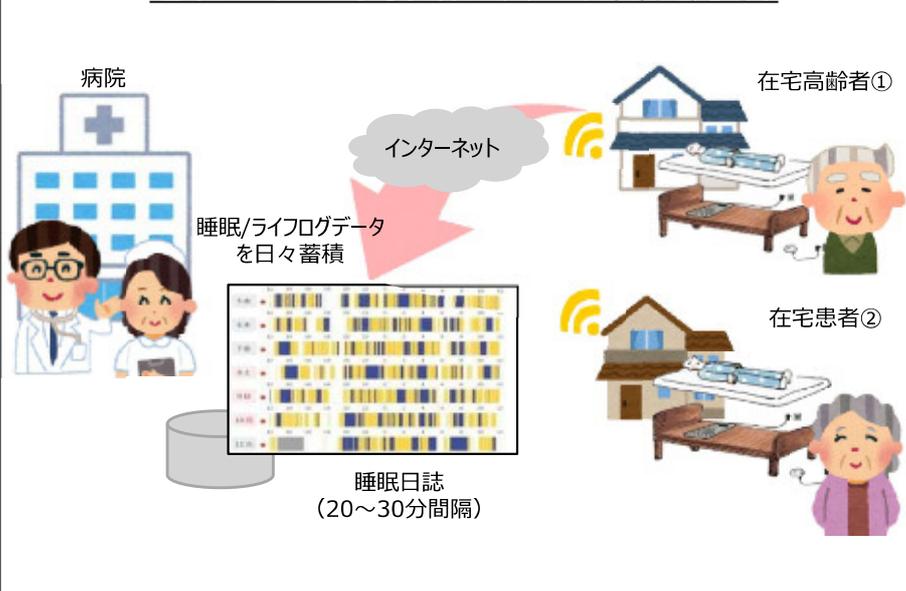
病院や施設など様々な主体が市民の健康を支えているが、市民がより快適に医療福祉サービスを楽しむためには、急性期医療から介護・在宅までのシームレスな連携が重要となる。

スマートデバイスで取得したライフログデータ情報を活用して、施設間の患者転院時等における患者情報の連携向上の効果を検証するとともに、在宅におけるリモート診療や見守りなどの実施による新たな患者・市民サービスの有効性について検証する。

【実証内容】

平常時

睡眠センサーによるライフログデータ取得と見守り



- 睡眠センサーを活用し、在宅患者の体調把握のため、ライフログデータ（呼吸数・心拍数・睡眠覚醒）を日々収集（モニタリング）
- 睡眠日誌により日々の見守りならびに、夜間に長時間ベッドに不在している患者・在宅高齢者などに訪問判断等を実施  
 <<対象シーン>>  
 ①遠隔見守り  
 ②睡眠状態のケア

<<検証項目>>

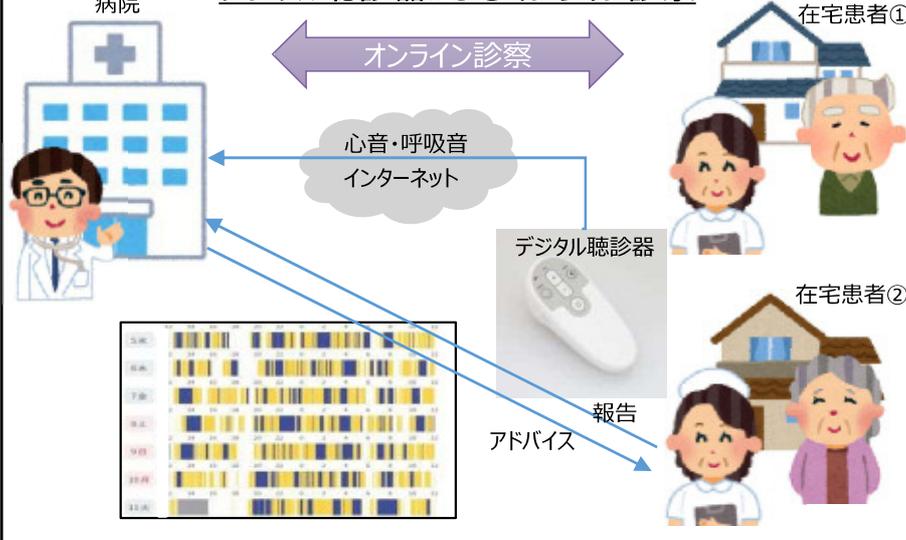
睡眠センサーによる体調把握ならびに日々の見守りに対する課題と有効性

<<使用製品>>

アクティブスリープ アナライザー  
 Active Sleep ANALYZER  
 (NTT PARAVITA株式会社)

訪問看護時

デジタル聴診器によるオンライン診察



- 訪問看護時に、病院と患者宅をインターネット経由で接続し、**デジタル聴診器**を活用して病院に滞在している医師が遠隔で心音・呼吸音を確認しながら診察を実施
- 平常時に収集したライフログデータを活用し、訪問看護時以外の状態を把握することで生活リズムの改善アドバイスを実施

<<検証項目>>

遠隔診療の有効性  
 在宅看護時の看護師の不安軽減ならびに間接業務の負担軽減の効果

<<使用製品>>

・オンライン診療システム スマートキュア  
 (株式会社スマートゲート)

【実証期間】

2022年11月1日から2022年12月頃まで

【実証施設】

刈谷豊田総合病院  
 刈谷豊田東病院（刈谷訪問看護ステーション）  
 高浜豊田病院（高浜訪問看護ステーション）

<<実証の関係者>>

刈谷市企画財政部企画政策課  
 医療法人豊田会  
 NTTコミュニケーションズ株式会社  
 西日本電信電話株式会社  
 NTTビジネスソリューションズ株式会社  
 パラマウントベッド株式会社